

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	総務部 広報・県市連絡調整担当 課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	15効果的な港のPR活動をする		連絡先	052-654-7947	
事務事業名	01帆船等の寄港誘致と一般公開				

1 PLAN(目的・概要)

目的	県市民の「船」「海」「港」への関心を高めるとともに、多くの人が港を訪れるようにします。	事業期間	昭和52年度～継続
概要	練習帆船・汽船、南極観測船等の海事海洋に関する船舶を招致し、一般公開、入港歓迎を実施します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	帆船「海丸丸」、練習船「銀河丸」の2隻が名古屋港に寄港し、一般公開を行いました。帆船においては、セイルドリル(展帆訓練)、歓迎伴走を実施しました。 来港者に対し、「ようこそなごやこうへ」「メモリアルカード」の配布や、ポーター、ミータンによるPR活動により、海事思想の普及に努めました。 平成22年度は帆船「日本丸」、練習船「青雲丸」、「銀河丸」及び「大成丸」の4隻が名古屋港に寄港し、一般公開を行う予定です。帆船においては、セイルドリル(展帆訓練)、歓迎伴走を実施する予定です。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
誘致隻数	単位	目標	7	3	3	4	5	
	隻	実績	8	3	2			
公開日数	単位	目標	7	3	3	4	5	公開日数は1日公開を1、半日公開を0.5で算出
	日	実績	8	3	2			
事業費	千円	4,579	4,052	3,151	4,346			
人員 正規職員	人	0.20	0.40	0.40	0.40			
	嘱託職員	人						
人件費相当額	千円	1,737	3,508	3,433	3,511			
事業費・人件費の合計	千円	6,316	7,560	6,584	7,857			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
船舶一般公開見学者数	単位	目標	30,000	8,200	8,200	9,500	11,000		
	人	実績	23,123	5,833	3,584				
	達成率(%)		77	71	44				
船舶イベント見学者数	単位	目標	80,000	20,000	20,000	20,000	18,000		
	人	実績	61,100	15,780	21,056				
	達成率(%)		76.4	78.9	105.3				
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・練習船等の寄港により、多くの人が訪れ、海事思想の普及及び親しまれる施設への集客に対して有効な事業となっています。						
	目的・水準の妥当性	有・(無)							
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)							
有効性	成果の達成度	(有)・無	・21年度の一般公開の達成度が約44%と単年度の進捗が図られていない一方(ただし、見学者数は船舶の寄港数によるところがある)、イベント見学者については、目標値を達成しました。						
	内容の妥当性	(有)・無	・21年度は一般公開見学者数が帆船及び汽船共に過去3年平均を下回りました。						
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)							
	受益者負担の適正性	有・(無)							
	経済性	有・(無)							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大		○	一般公開見学者数増加に向け周知方法等の強化が必要なため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		電子掲示板を活用し、水族館等ガーデンふ頭への来港者に対する広報について、検討を進めます。(水族館入館者の取り込み)			